

はりまや橋で朝立ち、空路福岡入りして夕方は宮崎県 東奔西走の仁比候補が気迫の訴え

仁比そうへい参院比例候補は18日、高知市のはりまや橋で朝立ちし、通勤途上の労働者らに、日本共産党への支持を訴えたあと、高知空港から空路福岡県入り、県内2か所で街頭宣伝。夕方は、宮崎県に入り2か所で街頭宣伝したほか、法律家後援会などのつどいに参加し、「残すところあと2日間、全力を出し切る」と決意を表明し、「なんとかしても、比例での躍進で5議席の実現。再び国会の質問席に立たせてほしい」などと気迫を込めて訴えました。



19日、20日の2日間は、地元小倉をはじめ福岡県内を駆け巡り、最後まで、自民党政治に対する日本共産党の積極的な対案・政策を語り、日本共産党への支持をよびかけます。

石破幹事長の「軍法会議」発言に怒りを燃やして



自民党の石破幹事長が「命令を聞かないやつは軍法会議で死刑」の趣旨を発言していたことに対し、石破幹事長の地元・鳥取県をはじめ中国地方各地で、怒りの声と「憲法を守る共産党の勝利を」の取り組みが急速に広がっています。

問題の発言は7月16日付東京新聞の記事です。

・・自民党の改憲草案9条2-5項には、改憲して「国防軍」になった場合、罪を犯した軍人その他の公務員に対して「裁判を行うため、国防軍に審判所を置く」とある・・「自衛隊で命令に従わなかった場合、懲役7年が上限」、「審判所の役割は『出動せよ』と言われたときに『死ぬからいや』と言わせないために、それに従わなければその国の最高刑、死刑がある国なら死刑、無期懲役なら無期懲役。懲役300年なら300年。そんな目に遭うぐらいなら命令に従おうっていう」「公開の法廷ではない」・・・

選挙終盤になって「改憲の本音」を言いだした安倍内閣の危険な策動に対し、憲法と日本の平和と民主主義を守る日本共産党の5議席勝利、熱血弁護士・仁比そうへいの議席獲得が求められています。

党員は、「仁比そうへい」と候補者名で投票します

歴史的チャンス、ここで逃がしてなるものか